

六甲山 ハイキング



創元手帖文庫

六甲山ハイキング

大西雄一 著



あなたの卒業証書

43 全六甲山脈縦走

地図 5万 須磨, 神戸, 大阪西北部

〔健脚家の耐久鍛練向き 歩く距離 54K〕

塩屋・須磨浦公園 $\frac{2.5K}{35分}$ 鉢伏山旗振茶屋 $\frac{3K}{40分}$ 多井畑峠 $\frac{4.5K}{60分}$ 萩
の寺 $\frac{1.5K}{30分}$ 高取山頂 $\frac{3.5K}{40分}$ 神電鶴越駅 $\frac{3K}{60分}$ 菊水山頂 $\frac{2.5K}{50分}$ 鍋蓋山
頂 $\frac{1.5K}{20分}$ 再度山大竜寺 $\frac{1.5K}{15分}$ 市ガ原 $\frac{3K}{90分}$ 摩耶山頂 $\frac{6K}{70分}$ 西六甲記念
碑台 $\frac{6K}{70分}$ 最高峰一軒茶屋 $\frac{1.2K}{10分}$ 鳥居茶屋 $\frac{1.2K}{10分}$ 縦走路分岐点 $\frac{1K}{15分}$
水無山 $\frac{2K}{30分}$ 船坂峠 $\frac{7K}{110分}$ 塩屋寺 $\frac{3K}{30分}$ 阪急宝塚駅

注 以上は実歩行時間で785分、すなわち13時間5分である。食事回数4回、1回当たり10分として40分、その他小休止通算30分として休憩時間の計70分。合計所要時間14時間15分となる。まずこの程度が普通の健脚家の標準であろう。若干の記録実例を別表に記しておいたから参考とされたい。

六甲山の各コースについて説明をしてきたが、これでご承知いただいたように、一口に六甲といっても東は宝塚から西は塩屋、須磨に至るまで、10kmないし15kmの幅をもって延々54kmの長さになつて山脈が続いているので、ずいぶんと広くかつ変化にとんでいる。いずれのコースをとっても、たっぷり1日がかりでハイキングが楽しめるのである。その数多い六甲登山の総仕上げに、全六甲山脈

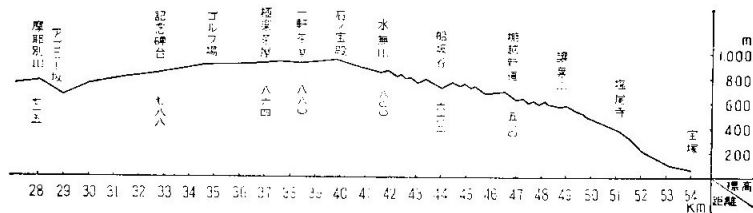
全六甲山脈縦走の標高と距離

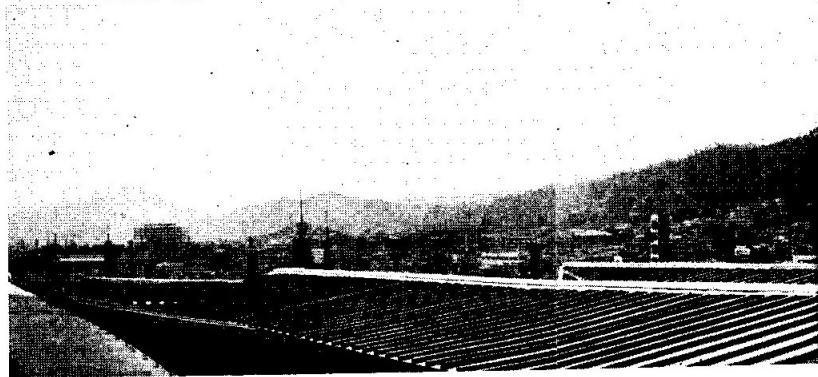


の縦走計画を登場させよう。この塩屋～宝塚の山稜線のひとつひとつを忠実に登り下りして、これを1日のうちに踏破しようとするもので、歩く距離54km、登る高さの累計2,000m、所要時間14時間～16時間の強行軍である。

いかがですか、やってみませんか。これが成功できると初めて、あなたは登山家として標準点がもらえ、六甲登山の卒業証書がいただけるのです。その体力と意志力とでは、日本アルプスへ登っても大丈夫ということになるのです。全縦走をやったよ……といえば、一応敬意を表され、山仲間にもいれてもらえるというもので、リーダー格となる資格のひとつでもあります。ではさっそく次の日曜日にでも……と簡単におっしゃっても、そうは問屋が卸しません。実はなかなか大変な事業なんですよ。まあたいていの人は、何回かの失敗の後に、あるいは何年かの後に、やっと大願成就するのが普通です。これは大きな山行の計画や実践のそれにも似た、物心両面にわたる綿密、周到な準備が必要であり、燃える闘志と体力が要求される。それだけにまた愉快なすばらしい計画なのです。20歳台の元気の若い人でも多くは落伍(らくご)するが、50歳台でもむずかしいことはなく、現に筆者も51歳ですが楽しくやりました。ぜひ試みてください。ではこの計画の内容について気のついた点をお話ししましょう。

出発点 東の宝塚、西の塩屋、須磨のいずれから出発するかは、成功に重要な関係がある。後に述べるように長時間かかるので早朝出発の必要があるが、住居や交通機関などの都合もあるのでいずれを出発点とされてもよいが、コースの状況からすればなるべく西から出て東で終わる方が得策であろう。その理由は、東からは1. 宝

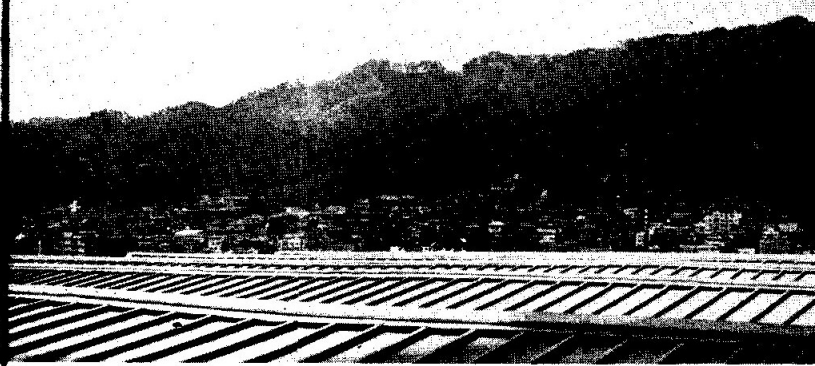




三ノ宮より見た六甲の山々-1

塚から最高峰までは標高差 900m の登りで、すくなくとも 4 時間以上かかり、まず最初の行程でかなり疲れてしまうこと。2. 夜になる部分が、高取山以西の登り下りがはげしくやせ尾根やはげ山や分岐路の多い小道が多いことなどで、危険かつ迷いやすいこと。西からは、日の高いうちに变化のはげしい山稜線のコースを終了し、摩耶（まや）山あたりで夕方になるが、後の 27.4km の前半 14.4km は六甲山上部の平坦（へいたん）な道であり、後半の 13km 東六甲縦走路は部分的には起伏はあるにしても、とにかく山頂から平地へ下るので、長途の疲労した身体には負担（ふたん）が軽いこと、などである。もっとも、この東六甲縦走路も小道で、分岐路も多く山が深いので迷いこんだら難物である。ことに途中で逃げこむ方法がないので、一度進みだしたら最後までがんばり通さねばならない。普通は西の塩屋または須磨から始めるのが順コースで、東の宝塚からののは逆コースといわれている。以下順コースを標準に説明をする。

行程 山稜線を忠実にたどるので、登り下りがはげしくひんばんであるため、単に地図上で平面的にはかった距離と実歩行距離とはかなり相違があるが、実距離は少なくとも 54km～55km はあろう。これを 1 日中に踏破するためかなり強行軍となるが、天候（六甲の天気は変わりやすい）と、疲労その他の理由で途中で挫折（ざせつ）しても、安全に処理できるのもこのコースの特徴である。まず第 1 の関門は菊水山、第 2 関門は摩耶山天狗（てんぐ）道、第 3 関門は摩耶山頂、第 4 関門は六甲ケーブル駅——これまでは随次いこう

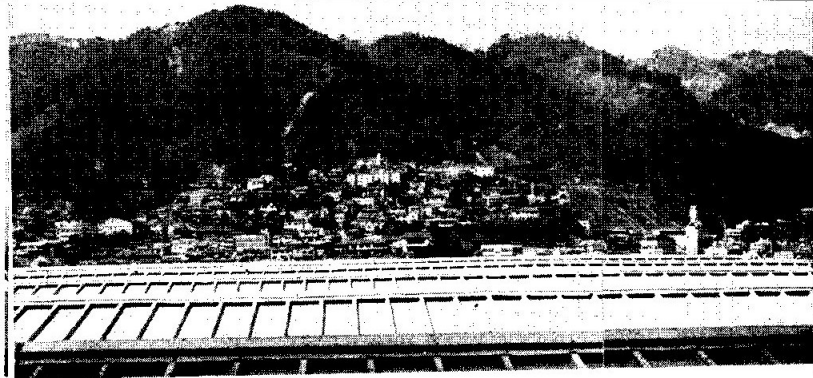


高取山(左)から、鑑山(右)付近まで

にも落伍者の処理ができるが、六甲ケーブル駅以東は 20km 以上の夜の山道を完遂する以外に手がないので、ここでリーダーは前途の見透しをたて、責任のある決意をしなければならない。中途半端に何とかなるだろう……程度では困ったことになる。たいていの場合、最初 10 人で出発したパーティも、ここで全員中止敗退するか、2 人か 3 人の強者だけで敢行し、他はケーブルかロープウェーで町へおろすか、になるのが常である。この縦走は個々の道順を充分に知りつくしていなくては駄目で、現地でウロウロするようでは成功おぼつかない。そのためには事前に何度かの綿密な実地踏査を積み重ねて、自信を深めて初めて実施できる。特に夜道の部分においてはなおさらである。

時期 上述のようにコースを熟知さえすればよいかというと、それだけでは困難で、季節の選び方が重要なカギとなる。夏期は日が長く夜道がまぬがれてよいように思われるが、高温多湿のため苦しく疲れるので、到底不可能である。早春か晩秋が最も適当で、出来れば月夜を選びたい。

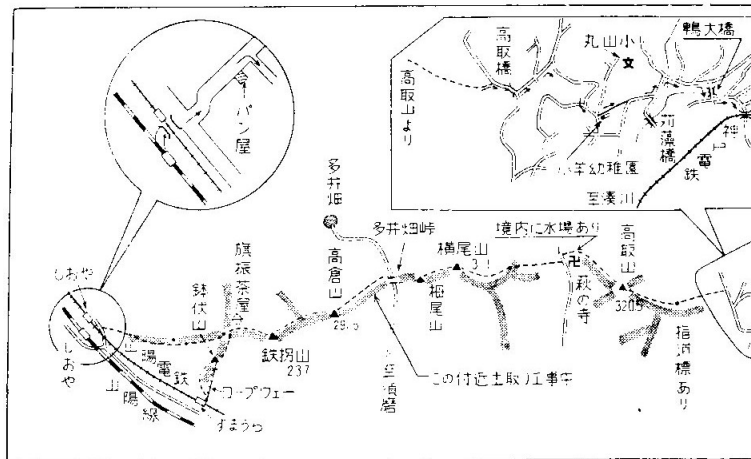
所要時間 20 歳台の最も元気な若者で 14 時間～15 時間、40 歳位では 16～17 時間、あたりがまず標準だろう。もっとも記録作りの目的で全コースを韋駄天（いだてん）走りをしたある若者の 8 時間 20 分というもあるが、これは別問題であろう。別表にくわしく記しておいたから参考とされたい。従って出発は朝 6 時か遅くとも 7 時とすべきで、途中食事以外はほとんど休みなしのぶっ通しで歩いても、



三ノ宮より見た六甲の山々-2

順調にいった宝塚に着くのが夜の8時から9時ごろになるだろう。

装 備 靴 (くつ) は底の厚い革 (かわ) の登山靴がよい (ビョウ靴は重いのでビブラム底が軽くてよい)。キャラバンシューズは爪先を痛める場合があり、運動靴やこれに類する程度の履物は不適当である。爪先や踵 (かかと) に石鹼を塗っておくと靴づれが防げる。なるべく装備は軽くした方がよいが、防寒衣や懐中電灯はぜひ必要。食糧は行動食2食程度でよく、なるべく途中の食堂などを利用した方が荷が軽くて得策。食事は4度か5度に分け簡易に腹七分

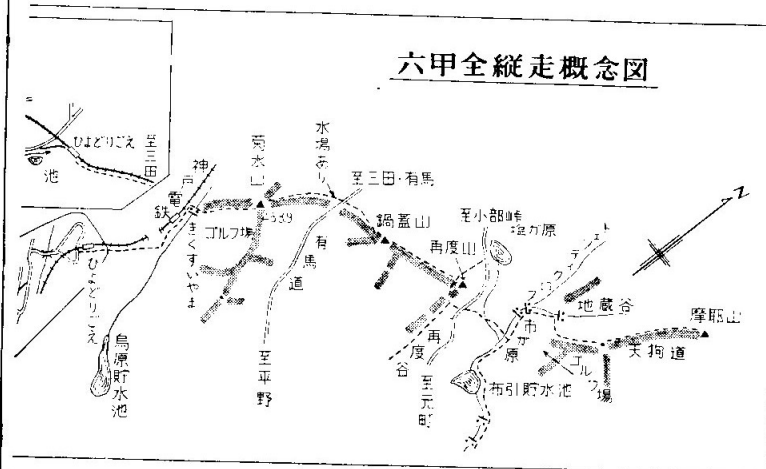


布引(左)から天狗塚(右)付近まで

目ぐらいで行動すること。疲労の際はチョコレートやレモンなど回復に効果があるから携行した方がよからう。水場に乏しいところが多いのでテルモス、水筒の類は忘れめように。以上の他一般的な登山者としての注意を守ってもらうことはもちろんだが、要するに

1. 事前に充分の調査研究をすること。
2. パーティの質をそろえること。
3. 烈々たる闘志と聰明 (そうめい) な判断が必要であること、などの条件を忘れないように。

コースの概要とその要点 出発点の鉢伏山は、塩屋からでも須磨





東六甲を歩く

の舗装路に出る。ここから東六甲最高峰の鳥居茶屋までの約10%は坦々（たんたん）たる広い道なので楽だが、西六甲の記念碑台あたりで最後の重要な判断をしなければならない。ここが第4の関門である。ここからなら六甲ケーブルで市街へおりられるが、これから先は約20%の山道をいやが応でも自分の2本の足で歩かねばならない。途中で、もう駄目だ、と弱音をはいてもどうしようもないので、前進か敗退か、の決断の最後のチャンスとなる。十中八、九はここであきらめるはめとなるが、それでよいので、無思慮な空元気強がりは禁物で、すこしでも不安があればいさぎよく思い切り再歩をはかるべきである。

最高峰下の一軒茶屋をすぎて鳥居茶屋につくころはもう夜の暮はおり星がきらめいているだろう。第4の食事をとり、夜道の支度をする。防寒衣を着こみ、ライトをつけ、靴のひもをしめ直し、いよいよ最後のコースに出発だ。鳥居茶屋をすこし行ってから東六甲縦走路の細道にはいる。このコースは小さな登り下りの起伏が多く、細い山道で石ころや木の根が多く、そのうえブッシュにおおわれて昼でも歩きにくい。さらに分岐路が随所にあり、迷いこんだら大変なので、よく注意し合って行動することが必要だ。ことにパーティの隊列は乱れないように絶対に固まって動くことが肝心である。とにかく足もとに気をつけて、たがいに声をかけ合いながら行進する。塩尾寺（えんべいじ）に到着すればもう占めたもので、あとは宝塚まで夢中で重い足を引きずっていくこと3～40分で、武庫川にかか

る大橋に出る。

橋上になって川面に映る旅館、料亭のはなやかな灯をみ、来し方の漆黒の山容をふりかえるとき「やったぞ!!」の感激が胸にこみあげてくる。これであなたも一人前の山男になれたのだ。

ある登山者の縦走記録

地名	距離 K	20歳台 4人 37年10月28日			50歳前後 3人 37年3月23日			21歳男単独行 37年12月11日		
		到着時刻 時分	実働 分	休み 分	到着時刻 時分	実働 分	休み 分	到着時刻 時分	実働 分	休み 分
塩屋		7.35			6.05			7.00		
旗振茶屋	2.5	8.06	31	4	6.40	25		7.15	15	
多井畑峠	3.0	8.51	41	4	7.35	55	10	7.30	15	
萩の寺	4.5	10.00	65	15	9.05	80	(食)	7.50	20	
高取山	1.5	10.45	30	15	9.40	35	30	8.10	20	10
嶋越駅	3.5	11.40	40		10.45	35	(食)	8.50	30	(食)
菊水山頂	3.0	12.50	70	25	11.45	60	15	9.45	55	5
鍋蓋山頂	2.5	14.00	45		13.10	70	(食)	10.15	25	
再度山大 竜寺	1.5	14.20	20		13.50	40		10.25	10	
市ガ原	1.5	14.31	11		14.05	15	15	10.30	5	
摩耶山頂	3.0	16.05	94	15	15.50	90	40	11.35	65	
記念碑台	6.0	17.28	68		17.40	70	(食)	12.15	40	30
一軒茶屋	6.0	18.25	57	5	18.50	70		13.40	55	(食)
鳥居茶屋	1.2	18.38	8	2	19.00	10	5			
縦走路分 岐点	1.2	18.48	8		19.20	15		↓		
水無山	1.0	18.58	10	2	19.35	15				
船坂峠	2.0	19.15	15		20.05	30		14.15	35	
塩尾寺	7.0	21.00	105	2	22.05	120		15.05	50	
宝塚駅	3.0	21.30	28		22.40	35		15.20	15	
合 計	53.9	13.55	12.26	1.29	16.35	14.45	1.50	8.20	7.35	45

著者略歴

明治44年神戸市に生まる。

昭和7年神戸高商卒。

稜線山岳会会長。神戸市山岳部顧問。

六甲については中学時代から現在まで、

40年間にわたって登りつづけている。

現在 神戸市民生局長。

著書 「絵のある随筆」

六甲山ハイキング

昭和38年7月1日 初版発行

昭和40年3月10日 4版発行

定 価 290円

著 者 ©大 西 雄 一

発行者 矢 部 良 策

印刷者 岩岡印刷株式会社

表 紙 若竹印刷株式会社

発 行 所 株式 創 元 社
会社

大阪市北区樋上町45

TEL (363) 2531~3

東京営業所 東京都 新宿区神楽坂6-73

TEL (269) 1051

落丁・乱丁本はおとりかえいたします。(安田製本)